

《みんなで楽しく農体験♪～Let's 収穫 Let's eat～》

私たちは、食へのありがたみを感じてほしいという思いから、農地でのイベントを企画しました。日常生活での当たり前になっていたことを改めて見つめなおし、感謝の気持ちを込めて「いただきます」を言ってもらう機会になればと思いました。

(日 時) 2011年8月6日(日)、10月8日(土)、11月12日(土)

(場 所) 甲山農地

(参加者) 8家族(子ども12名・大人13名)

(学生スタッフ) 10名

●2011年8月6日(日)●

第1回目は、夏野菜の収穫体験を行いました。自己紹介や注意事項の説明の後、夏野菜の栄養や効果について、オリジナルの紙芝居を使ってお話ししました。

次にご家族ごとに、スタンプラリー形式で、トマト、きゅうり、なす、オクラなどの夏野菜を収穫していただきました。



お昼ご飯には、夏野菜をたっぷり使ったカレーともぎたてのトマトを試食していただきました。また、お昼ご飯後に野菜クイズを行い、野菜に対する理解を深めてもらいました。



●2011年10月8日(土)●

第2回目は稲刈りを行いました。まずは、稲写真の育つ過程や季節の虫はりつけクイズで、田んぼと稲に対する親しみを深めてもらい、稲刈りにのぞみました。稲刈りは鎌を使うため、細心の注意を払って作業してもらい、刈った稲は、乾燥のために干してもらいました。



お昼ご飯後は、稲が食卓に運ばれてくるまでの道のりの説明やお米クイズ、脱穀・もみすり体験をし、さらに稲とお米に対する知識を深めてもらいました。



●2011年11月12日(土)●

最後の回は、いもほりと冬野菜の収穫をしました。この日も最初にむしのペア探しゲームをし、参加者同士の交流をはかり、また、食物連鎖について学んでももらいました。



また、さつまいも掘りや大根、人参、水菜、白菜など、秋の野菜を収穫し、お昼には農地の野菜をふんだんに使った豚汁とさつまいもご飯を試食していただきました。最後には3回のイベントを通しての学びを振り返り、農作物を育てる大変さ、匂いや実りをあらためて知ってもらえたのではないかと思います。



《まなんで、あそぼう、水のこと in 甲山 / 学んで、探そう、植物のこと in 神戸女学院大学》

私たちは子どもたちに自然について楽しく学んでもらうことをイベントの目的として、自然を身近に感じてもらえるような企画を考え、イベントを2回行いました。

●「まなんで、あそぼう、水のこと in 甲山」●

(日時) 2011年8月5日(土)

(場所) 甲山自然環境センター

(参加者) 10家族(小学1~2年生11名・大人14名)

(学生スタッフ) 7名

このイベントでは水について学び、水の大切さをしってもらうことを目的にしました。

まずはオリジナル紙芝居を使って、水の循環を理解してもらいました。水くんという主人公が登場します。水くんは雨になって山に落ちて、山にしみ込まれて、川から海へ。海で蒸発してまた雨になるという水くんの冒険で循環を例えました。



次に実験を2種類行いました。

1つ目はアメンボの実験で、針金で作ったアメンボを泥水と油を混ぜた水に浮かせてみました。泥水には浮かぶのですが、油を混ぜた水にはアメンボは浮かばず沈んでしまいます。

これは泥水に浮かぶのは表面張力が働いているからで、油を混ぜた水では針金のアメンボも、本当のアメンボも生きていくことはできません。



二つ目の実験ではペットボトルを使って水の浄化実験を行いました。ペットボトルに砂・綿・炭・小石などを入れて、自然の浄化を再現してみました。実験は見事に成功し、黒色の泥水が透明なキレイな水になってでけると、子供たちも大喜びでした。その後、川遊びをする予定にしましたが、豪雨のため中止となりました。



●「学んで、探そう、植物のこと in 神戸女学院」●

(日時) 2011年12月3日(土)

(場所) 神戸女学院大学

(参加者) 小学3~4年生(子ども10名・保護者4名)

(学生スタッフ) 7名

秋のイベントでは森林の役割や植物の大切さを知ってもらうことを目的にしました。

まず最初に学内の自然を活かして、植物をクイズにしたスタンプラリーを学内で行いました。スタンプラリーを探すのにみんな大はしゃぎでした。部屋に戻ってきてからは植物に関するレクリエーションを行いました。



そして実験を二つ行いました。1つ目は土砂崩れの実験です。土砂崩れとはどういうものかを分かってもらうために、牛乳パックに入れた腐葉土とグラウンドの土のそれぞれに水を流してみました。結果はグラウンドの土は腐葉土よりも水が激しく流れていきました。これは土の中に木や葉がないために水を含むことが出来ないから押し流されるからです。森林が伐採されて土砂崩れが起きるしくみをこの実験でわかってもらいました。



二つ目は葉の葉脈を取り出す実験を行いました。スタンプラリーを行った際に取ってきてもらった葉を使って実験を行いました。取り出した葉脈はよく乾かしてしおりにして、イベントの思い出としてもらいました。



《みんなで Cooking ♪》

私たちは学生生活における「友達との出会い」が大切だと考え、「友達」に注目してイベントを企画しました。イベントの目的は「料理を通して、交流を深め、友達の輪を広げる」ことです。

(日 時) 2011年10月15日(土)、11月26日(土)

(場 所) 西宮市立甲東公民館

(参加者) 女学院生1・2年生 10名

(学生スタッフ) 3年生8名

まず最初に「他己紹介」をしました。これは2人1組のペアになり、用紙に沿ってお互いが質問し、自由におしゃべりしてもらいます。そしてみんなにペアになった相手のことを紹介してもらおうというものです。他己紹介を行うことで緊張した雰囲気が和らぎ、これがきっかけで緊張がほぐれて、お互いをすることができました。



2回のイベントともにチームに分かれて、調理をすることでとても参加者同士仲良くなれていました。

またイベント終了時には最初にあった緊張感もなく、和やかな雰囲気の中で、参加者の方々同士、メールアドレスの交換や、遊びに行く約束をするほど仲良くなっていました。



「他己紹介」で場が和んだ後はスタッフと参加者の混合チームに分かれて料理を作りました。

第1回目はカロリーや栄養バランスを考えたヘルシーなワンプレートランチを作りました。メニューは照り焼きチキン、ごぼうサラダ、中華スープ、アセロラゼリーを作りました。



第2回目のイベントでは、1回目の参加者からリクエストのあったボリューム且つバランスのとれたメニューにし、ヘルシーカツ、ライスバーガー、簡単みそ汁、わらびもちを作りました。

